



EAnetwork

今年も残り僅かになってまいりました。本年もお客様には、本当にお世話になりました。来年も、業界のNo.1を目指し日々精進してまいります。どうぞ宜しくお願いいたします。楽しいクリスマスと、良い年をお迎えください。

☆ Environmental column ☆

アスベストと我々の暮らし②：管理と対策

前回、アスベストの調査と分析についてご説明いたしましたが、今回はアスベストが存在している場合の管理と対策についてご説明したいと思います。

<リスクの把握>

所有する建物にアスベスト含有建材が存在している場合、そのアスベストを管理または対策する為に、テナントや従業員への暴露リスクがどの程度かを把握することが必要です。

アスベスト含有建材は、吹付アスベスト等の飛散性建材と、成形材等の非飛散性建材の2つに分類することがあります。しかしながら、この分類は建材の「性質」のみを表しており、実際の「状態」を表したものではありません。そして「含有量」、「使用部位」、「アクセス状況」、「エアモニタリング調査」等により、暴露リスクの把握が可能となってきます。

<管理方針の決定と対策>

暴露リスクの把握ができれば、今度は管理または対策の方針を決定します。

管理または対策方針を決定する際、その物件ごとのリスクやコスト、テナントの入居状況等、様々な要因に基づき検討する必要があります。たとえば解体を予定しているビルの場合、囲い込みや封じ込めの対策を選択するよりも、コストパフォーマンスの面から除去してしまったほうが良い場合もありますし、テナントが転出予定の為、囲い込みの応急処置をすれば問題ない場合など、状況に応じた選択が必要となります。

また、テナントが入居中のため、すぐに対策が出来ない、あるいはアクセス制限があるため、暴露リスクが低く緊急の対策の必要がない場合には、エアモニタリング等を用いてアスベストによる影響を定期的に監視することで現状維持とする場合もあります。

このように、アスベストを管理または対策する際には、様々な情報や状況に基づき判断することが重要となりますが、忘れてはいけないのは、法令の遵守（コンプライアンス）です。アスベストは人の生命に関わる問題であり、情報が足りない場合は安全側に立った判断が必要となります。そのため、所有者・事業者の姿勢が問われるケースもあり、この問題を軽視すると、経営リスクや信用リスクに発展することも考えられます。

現在、アスベストに関する法令は少しずつ整備されておりますが、判断が難しいケースもあろうかと思えます。また最近ではアスベストが存在する場合だけでなく、存在の有無が不明の建物についても、それだけで資産価値が下がる傾向が見受けられるようになって来ました。結局、所有する建物についてはアスベストの有無を正確に把握し、管理対策していくことが求められる時期に来ていると言えます。アスベストの管理や対策等でお悩みの際はぜひご相談ください。最新ベストプラクティスから法令遵守まで、数多くの経験に基づいた管理・対策のお手伝い・お役立ちができると思えます。

☆土壌汚染対策法第5条第1項に基づく指定区域、現在の状況☆

12月15日に環境省HPが更新されました。内容は11月30日現在です。指定区域の現在の状況に関しましては現在確認調査中ですので、No.30-2007年1月号にて詳細を掲載する予定です。

環境省HP <http://www.env.go.jp/water/dojo/sekou/shitei.html>

環境省HPは、毎月15日頃更新されます。

※年末年始の営業のご案内※

2005年12月28日から2006年1月4日まで営業をお休みさせていただきます。

1月5日より、平常営業させていただきます。

新年も、なお一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

今回のEAnetworkいかがでしたでしょうか。このニュースレターへの感想や土壌汚染に関するご質問など、お気軽にFax またはnews@earth-app.co.jpまでご連絡ください。

このEAnetworkは、過去に弊社セミナーにご参加いただいた方及び弊社へ調査のご依頼を頂いたお客様にお送りしております。以後メーリングリストでの配信希望の方は、下記にチェックの上FAXにてご返送、またはnews@earth-app.co.jpまでご連絡ください。

弊社の個人情報保護に関する基本方針は、弊社ホームページに掲載しております(<http://www.earth-app.co.jp/privacypolicy.htm>)。個人利用に関して同意いただけない場合、また、今後配信を希望されない方は、お手数ですが同様にご連絡ください。基本方針に基づき、責任を持って登録を削除させていただきます。

株式会社アースアプレイザル

編集者：藤井史枝

伊藤祥子

TEL: 03-5298-2151

FAX 03-3252-5411

会社名

お客様名

次回の配信から、メーリングリストでの配信希望 e-mail:

次回の配信を希望しない

コメント

アースアプレイザルグループおよび業務提携先

札幌アースアプレイザル(北海道)、アースアプレイザルN・E(神奈川)、中央開発・基礎地盤コンサルタンツ・ジオテック・りんかい日産建設・協和地下開発(関東)、アイエーシー(神奈川)、細野建設(長野)、トーエネック・フルエング・東邦地水(中部)、建設基礎調査設計事務所(静岡)、阪神測建(関西)、三協エンジニア(奈良)、エイトコンサルタンツ(岡山)、復建調査設計(広島)、藤井基礎設計事務所(島根)、日本地研・アースアプレイザル九州(福岡)、リサイクルワン、グリーンフィールドEA(大阪)